

浄土平山スキー報告

【山城】 吾妻連峰、浄土平周辺

【日程】 2017年4月23日

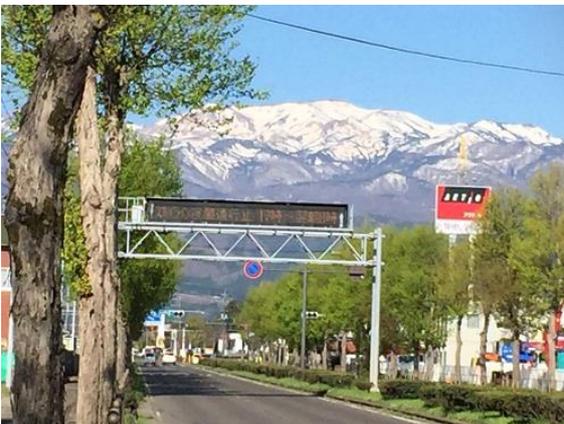
【メンバー】 CL 菊池、SL 薄井、滝本、池田(継)、鶴田、澤田(路)、石井、加藤(記録)

【行程】 浄土平駐車場(1580m)9:20→東吾妻山→鎌沼→前大巔→酸ヶ平湿原→1928m ピーク→酸ヶ平避難小屋前木道→蓬莱山中腹→浄土平駐車場 14:40 累計標高差約 600m



【記録】

福島市内から見る吾妻小富士には雪がなく心配になる。吾妻磐梯スカイラインが 8 時に通行可となるため高湯温泉で車が列を成して待つ。浄土平に近づくと火山活動の影響で、赤茶けた斜面が目立つ。正面には中腹から噴煙を出す一切経山、その左に白い蓬莱山、左奥に黒い東吾妻山が望める。



駐車場周辺は平らな台地で大きなレストハウスがあり観光客もかなりいた。我々は多くの登山者や山スキーヤーの一団から離れて蓬莱山の南側斜面をトラバースして行った。



鎌沼の手前で立ち止まると黒く見えた東吾妻山に帯状に樹林が薄くなった白い斜面が見えた。東吾妻山の北側の疎林帯を登ると、木が密集してきたので山頂でなく途中まで登ることにした。さてシールを外し、いよいよ鎌沼を目指して滑り出そうとしたその瞬間、Sさんがスキーを流してしまった。すぐ回収したが、流れ止めを装着してからスキーを履くようにと CL からの注意があった。



鎌池は凍結していたが一部氷が薄くなっている箇所もあり左から大きく巻いた。今度は正面の前大巔を目指す。



今回初めての頂上 1911m、吾妻連峰の山々、磐梯山など 360 度の眺めを味わった。一切経山は火山の地熱のせいか上部に雪がなく、下半分に雪がある。背後の家形山には雪がびっしりとあった。CL は茨城県の山スキー仲間に偶然頂上で会えて、しばし歓談していた。鎌沼目指して南斜面を滑降し、今度は隣の 1928m の名なしのピークに登り返すが前大巔より標高が高く、極上のザラメ雪を楽しんだ。



辿り着いた酸ヶ平避難小屋前の木道には椅子やテーブルが設置され暫く休憩した。今回最後のピーク蓬萊山を目指したが、思いもかけず藪に阻まれ敗退した。先ほどの木道に戻り、一般登山道を少し進み、蓬萊山の東側の広い斜面を滑降するが雪面は気温が下がってきたのか凍ってきた。



やがて谷状地形となり、眼下に広がる浄土平に向けて下るのだが、登山者の足跡で凸凹になった斜面が凍結して滑りにくい。



辿り着いた浄土平には観光バスが駐車していて雪のない一切経山に登る観光客もかなりいた。

今回のコースは初心者向きであるが変化に富み、シーンを3、4回付けて登行し、滑降ルートはそれぞれ短かったが、皆疲れることなく楽しむことができた。

下山後は高湯温泉の白濁した硫黄泉「あったか湯」250円に浸かり、帰葉した。